ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 2	調査位置	岡崎市中田町			北緯	
発注機関				調査期間	昭和62年6月11日～62年6月12日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人	前川敏弘	コア鑑定者		ボーリング責任者	宮城尚信
孔口標高	+12.85m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	ロータリー式ハンドフィード型	ハンマー落下用具	
総掘進長	11.10m								エンジン		ポンプ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	12.35	0.50	0.50		盛土				
1	11.15	1.20	1.70		粘土混り砂	暗褐～暗灰			
2					砂質シルト	黒灰～乳灰			
3									
4	8.05	3.10	4.80						
5	7.35	0.70	5.50		砂混り粘土	暗灰褐			
6	6.05	1.30	6.80		砂礫	暗灰褐			
7					玉石混り砂礫	暗灰褐			
8									
9									
10									
11	1.75	4.30	11.10						

孔内水位m／測定月日：3/12 1.95 ▽

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	1	3	3	7	7
1.45				30	
2.15	1			1	1
2.45	30			30	
3.15	1	1		2	2
3.45	15	15		30	
5.15	2	1	1	4	4
5.45				30	
6.15	17	16	17	50	50
6.45				30	
7.15	17	25	8	50	50
7.37			2	22	
8.00	29	21		50	50
8.13		3		13	
9.00	50			50	50
9.07	7			7	
10.00	50			50	50
10.09	9			9	
11.00	50			50	50
11.10				10	

N値 ―○― 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名および結果
5.50	現場透水試験
6.50	

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
3.80～4.65	1-1	

室内試験（ ）

掘進月日